

年頭のご挨拶



議会議長
小永 正裕

新年明けまして、おめでとうございます。

昨年末からの厳しい寒さに見舞われた年明けとなりましたが、町民の皆様におかれましては、健やかに元旦を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、皆様にはいつも、町政へのご協力、そして、議会への格別なるご支援、叱咤激励を賜りますことに、深く感謝申し上げます。

世界的な規模で長引く不況下にありながら、ようやく、我が国の経済も回復の兆しが見えてきたところですが、ここで気になるのが、日本経済は二番底を打つのではないかと、この経済学の専門家の観測がクローズ・アップされ始めていることです。それは、日本経済が、GDPベースで先進国中最大の落ち込みをしている現状にあるにもかかわらず、十分な景気対策がためられていないことからです。

米国は78兆円、中国では56兆円

という景気刺激策を実行していますが、昨年の国政選挙で政権を握った民主党の政策では第2次補正予算が14.5兆円規模であるにも拘らず、なお公共事業の更なる縮減を図っています。このことで危惧されるのは、景気の回復が遅れ、税収の落ち込みにつながり、その結果地方自治体への交付金の減額にまで及んでくることです。

本町においても、高齢化に伴い必要となる福祉への予算、疲弊する農林漁業に従事する方々への支援策、また、町政全般にわたる振興対策の実施に大きな悪影響を来すことが予想できるからです。

政権交代後100日を過ぎても、この国の進む方向が未だに定まらぬまま、迷走を続ける政府の姿を見るにつけ、将来への不安が募るのも仕方のないことです。

黒潮町議会としては、より一層の研鑽に努めると共に、本当にこの町と町民に必要な施策は何であるかを真剣に見極め、これまで以上に町行政に対して厳しい姿勢で臨んでいきますので、皆様のご支援、ご理解のほどよろしくお願い致します。

最後になりましたが、町民の皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。



町長
下村 正直

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには、おだやかないお正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中は町政執行に對しまして、格段のご理解とご協力を賜りましたことを心よりお礼申し上げます。

昨年の夏には衆議院総選挙において、歴史的な政権交代が行われました。この間にも、私たちの地域では、金融危機に端を発する未曾有の景気後退の影響が、ますます深刻なものとなっています。新政権には、地域経済を踏まえた、的確な経済対策を期待するところです。

さて、そのような状況の中、合併して四回目の新年を迎えたわけですが、これまでに、旧両町の各種取り組みや、制度、料金体系などいろいろな調整を経て、基盤づくりは整ったと思っています。黒潮町も一区切りをつけ、新年度か

ら、次の段階に進んでいくこととなります。

また、佐賀地域の高規格道路関連事業や、国道大方改良、統合保育所の建設などの大型事業も、仕上げる段階をむかえるものや、これから本格化するものなどがあります。

経済状況はたいへん厳しい中でありますが、これまで以上に内外の情勢に目を配りながら、的確な判断の下に、持続可能な地域社会の構築を、図って行かなければならないと考えていますので、議会や町民の皆さまには、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまにとりまして今年がよい年でありますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

